

# 令和5年度事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

公益財団法人東京連合防火協会は、広く都民の生命、身体及び財産を火災その他の災害から守るため、防火防災思想の普及高揚と災害発生時における被害軽減及び自助・共助を含む総合行動力の向上に関する次の事業を実施しました。

## I 公益事業

### 1 防火防災思想の普及高揚及び防災行動力の向上に関する事業

#### (1) 防災市民組織等の指導育成事業

##### ア 自主防災組織育成講習会に係る事業支援

9月26日（本所都民防災教育センター）参加人数 54名

10月27日（立川都民防災教育センター）参加人数 34名

地域の防災行動力向上と「自助・共助」の意識醸成を目的とした本講習会に係る東京消防庁の事業を支援した。

##### イ 消防少年団高校生団員研修に係る事業支援 7月17日（スクワール麴町）

消防少年団高校生団員を対象に、将来の防災リーダーを育成することを目的とした本研修会に係る東京消防庁の事業を支援した。(参加人数75名)

#### (2) 防火防災イベント等における広報活動事業

##### ア 防火・防災ポスター等の配布

##### (ア) 町会・自治会に防火防災ポスターを配布 (339,700枚)

時季に応じた5種類のポスターを作成し配布した。

① 夏の事故防止 37,000枚

② 防災週間 82,700枚

③ 秋の火災予防運動 93,200枚

④ 文化財防火デー 34,400枚

⑤ 春の火災予防運動 92,400枚

##### (イ) 消防のお知らせ(回覧板用)を作成し、町会を中心に配布 (598,800枚)

防災週間、秋の火災予防運動、春の火災予防運動に併せて作成し配布した。

(ウ) 各種広報媒体を活用した防火防災PR

- ① 消火栓標識広告板等を活用した防火防災PRを実施した。
- ② 災害時要配慮者に対する安全対策を推進するため、住宅用火災警報器のPR用エコバックを作成し、東京消防出初式の会場において、来場者に配布した。(300袋)
- ③ 火災予防対策を推進するため、消防艇の写真入りA5サイズクリアファイルを作成し、火災予防運動、防火防災訓練等の機会に、各消防署を通して都民に配布した。(13,000枚)

イ 防火防災標語、はたらく消防の写生会、東京消防出初式の支援等

(ア) 防火防災標語公募に係る事業支援

都民の防火防災の参画意識を高めるため、防火防災標語を募集し、優秀作品を表彰する東京消防庁の事業を支援した。

(イ) 第72回はたらく消防の写生会に係る事業支援

小・中学生が写生画や消防に関するポスター、図画等を作成することにより、消防への関心を高め、防火防災意識の育成・向上を図り、合わせて作品の展示や表彰を通して、広く防火防災思想の普及を目的として、東京消防庁が開催した「はたらく消防の写生会」の事業を支援した。

(参加校 1,203校・参加人数 124,130人・優秀賞 2,730点・入選 5,978点)

(ウ) 第20回地域の防火防災功労賞に係る事業支援 (応募数 70事例)

地域防災力の向上を図るため、地震災害や風水害の自然災害、住宅火災等の未然防止や被害の軽減に係る都民、事業所等の効果的な取組みについて優秀な団体を表彰する東京消防庁の事業を支援した。

(最優秀賞 3事例・優秀賞 4事例・優良賞 10事例)

(エ) 東京消防出初式に係る事業支援

東京消防出初式を事業支援し、広く都民の防火防災思想の普及を図った。

(3) 防火防災に関する専門図書の出版並びに機関誌等の発行事業

消防関係者の実務資料として防火防災の専門図書 (13冊) を出版するとともに、都民の防火防災思想の普及高揚を図るため、会報(年1回 4,300部)、機関誌「防災」(年4回 計 12,800部) を発行した。

(4) 東京国際消防防災展2023開催に伴う協賛

広く都民に防火防災思想の普及等を図るため、東京国際消防防災展2023に協

賛し、会長が実行委員会の委員長として参画し、オープニングセレモニーに列席した。また、収益事業として出張販売を実施した。(6月15日～18日)

(5) 消防功労者の表彰弔意事業

ア 消防功労者に対する感謝状、弔慰金の贈呈

防火防災思想の普及高揚に尽力した消防功労者63名に対する感謝状及び物故者2名に対する弔慰金を贈呈した。

イ 都民の消防官表彰の協賛(サンケイ新聞社主催)

都民の消防官表彰を協賛するとともに、選考委員として参画した。

## 2 災害時の被害軽減対策の普及及び調査研究等に関する事業

(1) 災害時要配慮者に対する防火防災対策の調査研究及び普及事業

災害時要配慮者の団体を対象に、東京消防庁を交え、災害時の対策等について意見交換会を開催した。

(2) 東京消防庁派遣隊等への支援事業

能登半島地震に派遣された東京消防庁緊急消防援助隊に資金援助した。

(3) 東京消防庁の来庁者に対する記念品作成を支援した。(消防ヘリの模型等)

(4) 地震による室内被害を軽減するため、防災訓練の参加者に配布する「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」作成を支援した。

## II 収益事業

### 1 防火防災普及用物品の販売並びに消防施設整備利用に関する事業

(1) 防火防災普及用物品の販売事業

都民の防火防災思想の普及高揚を図るため、防火防災普及用物品を販売した。

(2) 消火栓標識の建植等消防環境の整備促進事業

地域の火災被害の軽減に資するため、消火栓標識の建植及び維持管理を実施した。

## III その他の事業

### 1 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 協会の運営管理事業

理事会・評議員会を定期・臨時に開催した。

- ア 第47回理事会 5月29日（前年度の事業結果・決算等を審議）
- イ 第48回理事会 6月13日（会長の変更等に係る書面決議）
- ウ 第14回評議員会 6月13日（前年度の事業結果・決算・役員選任等を審議）  
※出席定数に満たなかったため決議の省略により実施した。
- エ 第49回理事会 10月26日（上半期の事業報告等を審議）
- オ 臨時評議員会 11月 8日（評議員の選任に係る書面決議）
- カ 第50回理事会 3月13日（6年度事業計画・予算等を審議）

(2) 会員等の連携交流事業

本年1月1日に発生した能登半島地震の被害状況を鑑み、「新年交歓会」から「新年懇談会」に名称を変更し、犠牲者に黙とうを捧げるなど被災者に配慮して会員相互の親睦と連携交流を図った。（参加人数 174名）